

オリジナルの“かご”をつくろう

☆ 材料を探しに出かけ、世界にひとつだけの作品づくりに挑戦！！



風景：国道312号 竹田城下町交差点付近

兵庫県立南但馬自然学校

オリジナルの“かご”をつくろう

1 活動の概要

南但馬自然学校の近隣に出かけ、事前に計画した特徴のつる植物（クズ・フジなど）を採取し、オリジナルの“かご”をつくる活動です。

※ 出前講座の「ロープワーク」を活用し、技術を活かすことができます。

※ 当日の製作時に「ロープワーク」の説明を聞き、活動することもできます。

2 活動の目的

つる植物からオリジナルの“かご”をつくりだす喜びを味わうとともに、材料の特徴（長さ、太さ、硬さ）の違いによって仕上がる“かご”の形状（形、大きさ）が異なることに気づかせることにより、自然の事物への興味や関心を高める。また、つる植物に利用価値を見出す活動を通して、身の回りの環境や資源の大切さについて考える機会とする。

3 準備するもの（※は南但馬自然学校で準備できるもの）

- (1) 軍手（人数分）
- (2) 剪定ばさみ（人数分 または 2人で1つ）※
- (3) メジャー（グループの数、実施校で準備）
- (4) ポリ袋（45L）（1人1袋）

4 人数／時期／場所・時間

- (1) 人数：1グループは5～7人程度
- (2) 時期：秋～冬（9月～12月頃）での活動がおすすめです（つる植物の生育状況によるため）。

※春～夏（5月～7月頃）での活動の場合、つる植物の特徴は、短い、細い、柔らかいものが多くなります。

- (3) 場所・時間

	場 所	時 間
説 明 時	大屋根広場 又は 工作室、研修室	20～ 30 分
材料採取時	国道312号沿いの擁壁（竹田城下町交差点付近）	100～120 分
製 作 時	工作室 又は 研修室（「ロープワーク」の説明なし）	60～100 分
	工作室 又は 研修室（「ロープワーク」の説明あり）	120～150 分

5 活動の手順

(1) 説明時 ～つる植物について～

- ①オリジナルの“かご”の作り方を説明します。
- ②採取する材料（つる植物）の特徴（長さ・太さ・硬さ）を考えさせます。

(2) 材料採取時 ～つる植物の採取～

材料（つる植物）の採取に出かけます。

《持ち物》

軍手、剪定ばさみ、メジャー、ポリ袋

(3) 製作時 ～オリジナルの“かご”づくり～

- ①ロープワークのまき結び・角しばりの方法を確認します。
- ②つるを編んでいきます。
- ③活動を振り返ります。

6 指導上の工夫と留意点

(1) 説明時

材料（つる植物）の特徴（長さ、太さ、硬さ）の違いによって、仕上がるオリジナルの“かご”の形状（形、大きさ）が異なることに気づかせるように工夫しましょう。

(2) 材料採取時

つる植物に利用価値を見出す活動であることを伝え、身の回りの環境や資源の大切さについて考えていくように指導しましょう。

(3) 製作時

「ロープワーク」を活用しながらオリジナルの“かご”を製作し、つくりだす喜びを味わう機会となるように指導しましょう。

7 安全上の留意点

- (1) 服装は、帽子、軍手、長袖・長ズボン、運動靴の着用が必要なことを説明しましょう。
- (2) 材料（つる植物）の採取場所までは徒歩で移動します。移動時には、指導者等を隊列の先頭と後尾に配置し、安全に道路を通行しましょう。
- (3) 剪定ばさみの使用時には、切り傷等のケガをしないよう、使い方の説明をしっかりとっておきましょう。

8 まとめ

最後に、それぞれの仕上がったオリジナルの“かご”を鑑賞し合い、工夫したことや考えたこと、気づいたことなどを発表し、活動を振り返ります。

★材料（つる植物）の採取場所★

国道312号沿いの擁壁（竹田城下町交差点付近に群生）



県立南但馬自然学校イラストマップ より

◆◆ 各教科等との主な関連 ◆◆

事前指導	身の回りの自然（植物）について	理 科	身の回りの生物（③） 季節と生物（④）
自然学校	自然（つる植物）にふれる活動	図画工作 算 数	表現、鑑賞（⑤） 結果を確かめ、日常生活等に生かす活動
事後指導	身の回りの自然（植物）が何かの材料 になっているかを調べる活動	理 科 図画工作 総合的な 学習の時間	生物と環境（⑥） 表現、鑑賞（⑤⑥） 探求的な学習の理解へつなぐ活動

※（ ）内の○数字は、学年を示しています。

南但馬自然学校アクティビティシート 令和3年

編者・発行 兵庫県立南但馬自然学校

〒669-5134 兵庫県朝来市山東町迫間字原 189

TEL 079-676-4731 FAX 079-676-4008

このアクティビティシートの様式は、（公財）日本教育科学研究所
が発行する IORE シートを参考に作成したものです。

オリジナルの“かご”をつくろう①

1 準備

つるを準備します。

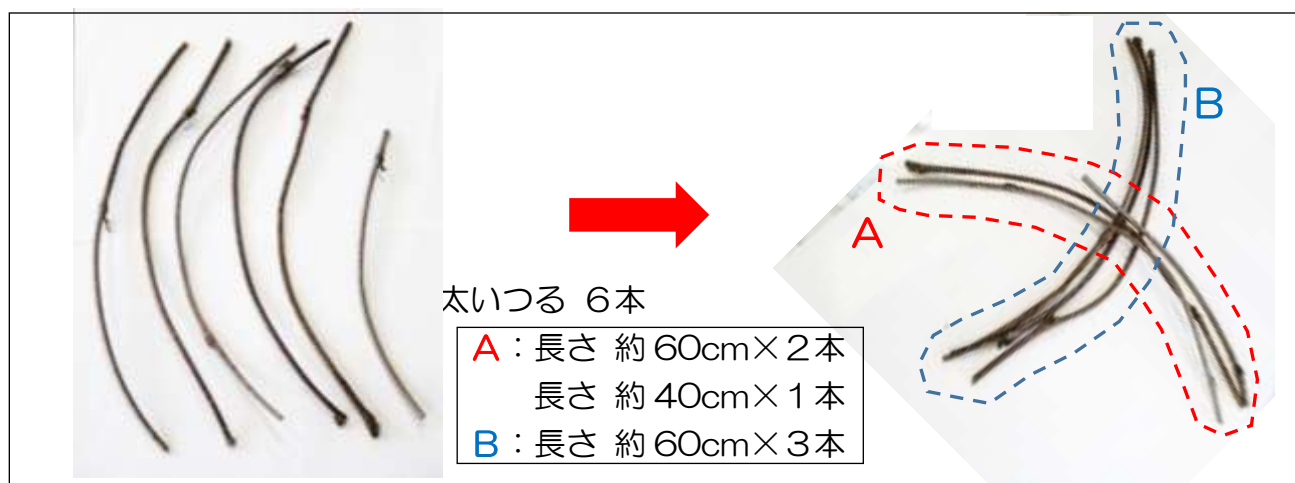
※“太さ”の違いで使い分けます。
くわしくは【手順2】を見てください。



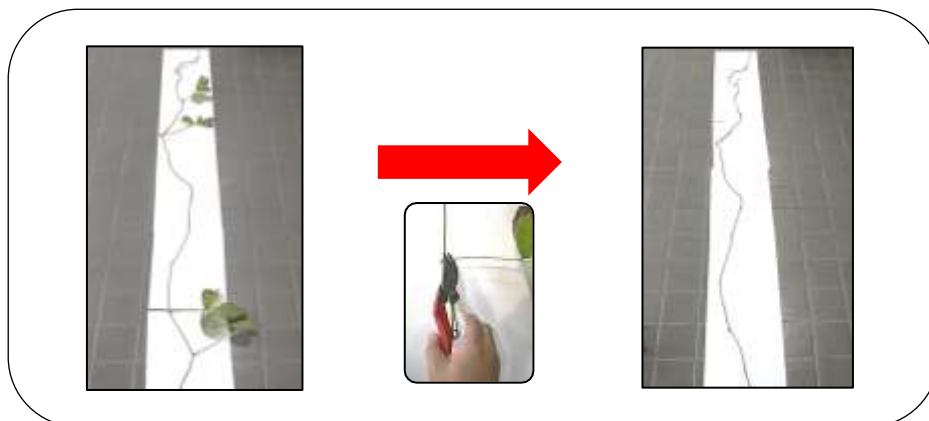
太いつる
(1で使います)



細いつる
(2 3で使います)



【手順1】 葉の切り取り



【手順2】 つるを選ぶ

太いつる (1で使います)



太さ: 約8mm



細いつる (2 3で使います)



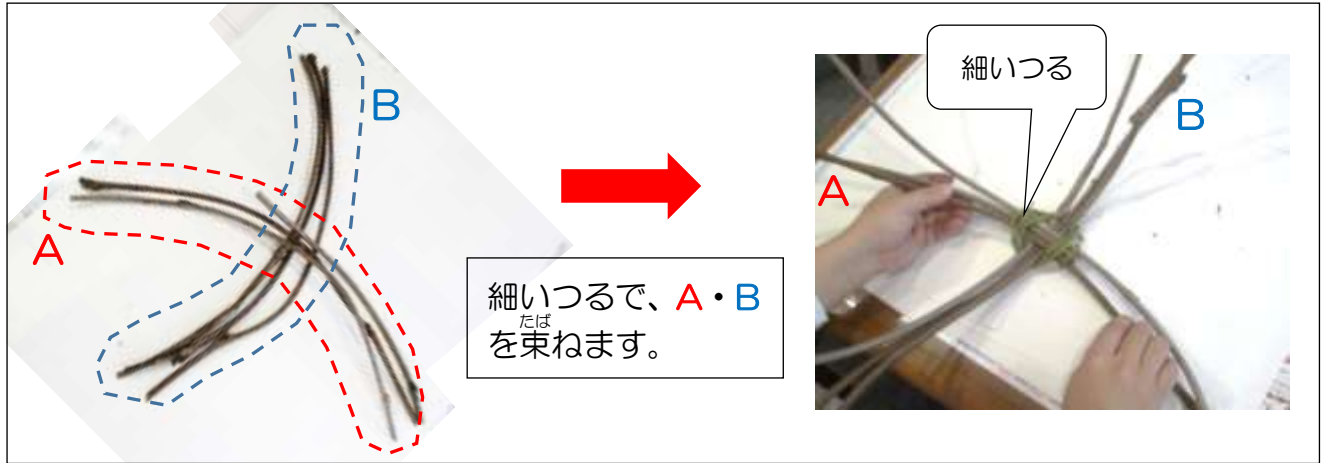
太さ: 約3mm



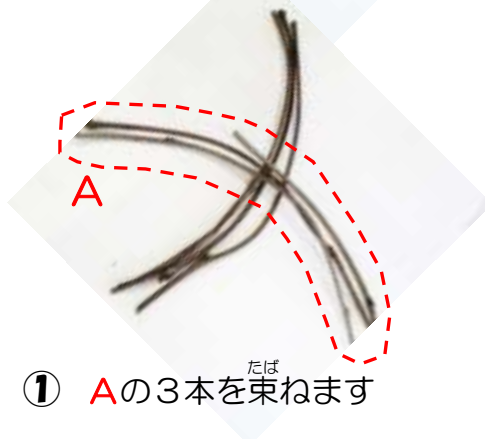
オリジナルの“かご”をつくろう②

2 ほねぐ 骨組みづくり (ロープワーク “まき結び” “角しばり” を使う)

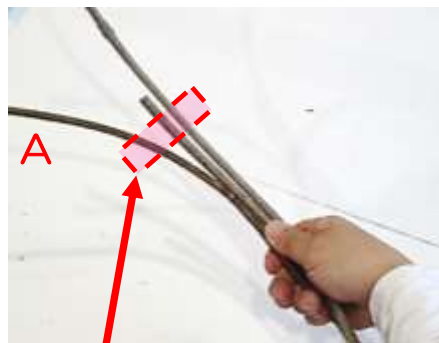
ここでは、つるA・Bを 細いつる で束ねます。



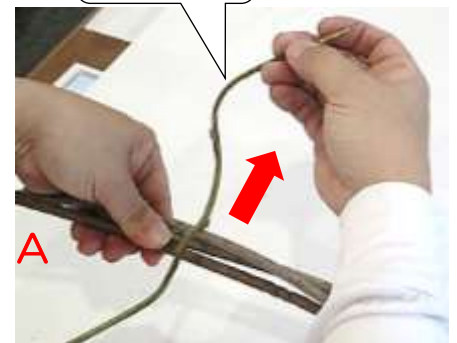
【手順1】 Aを束ねる (“まき結び” を使う)



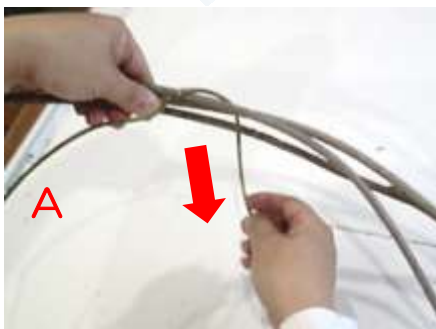
① Aの3本を束ねます



② この部分を細いつるで束ねます



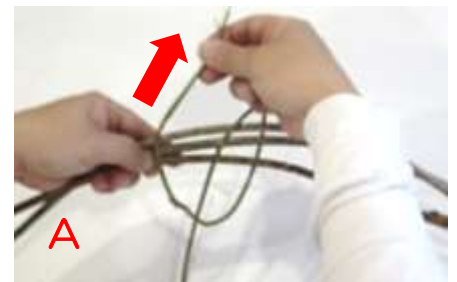
③ 細いつるの先端を持ち、手前から向こう側にかけます (上から)



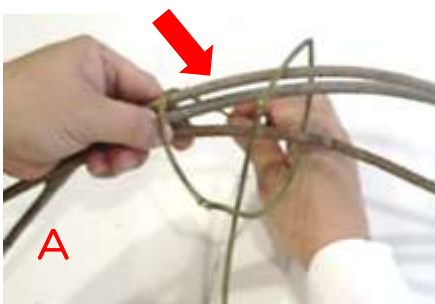
④ 次に手前に持ってきます (下から)



⑤ さらに左側に移動して、交差させます



⑥ 続いて、手前から向こう側にかけます (上から)



⑦ 向こう側に送った先端を手前にもどします (下から)



⑧ 写真の部分に先端を通します



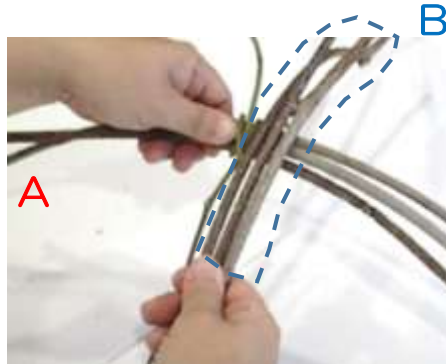
⑨ 先端を矢印の方向にしっかりと引っ張ります

オリジナルの“かご”をつくろう③

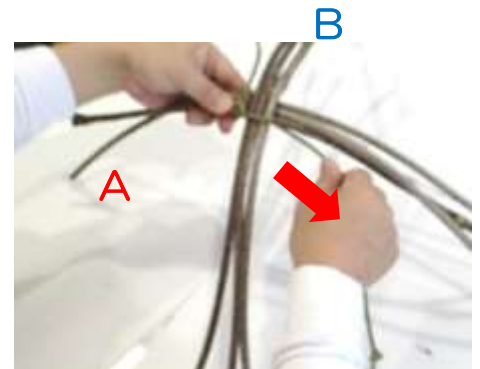
【手順2】 AとBを束ねる（“角しばり”を使う）



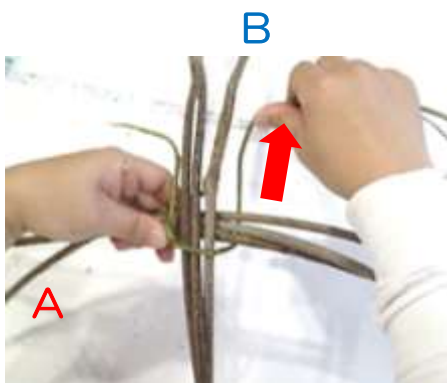
① 【手順1】のAです



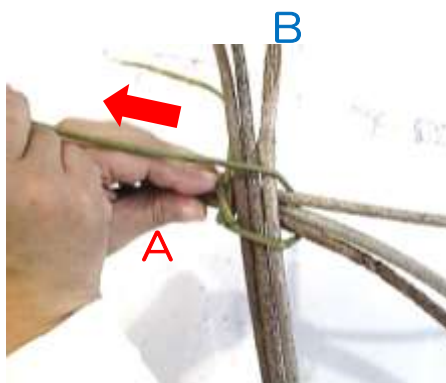
② Aの中央部にBを重ねます（十字になるように）



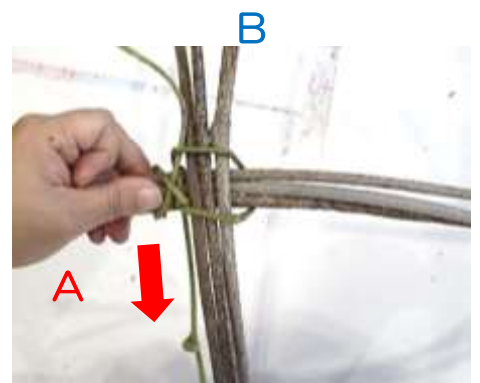
③ 右手に持っている細いつるをBの上から矢印の方向に引っぺします



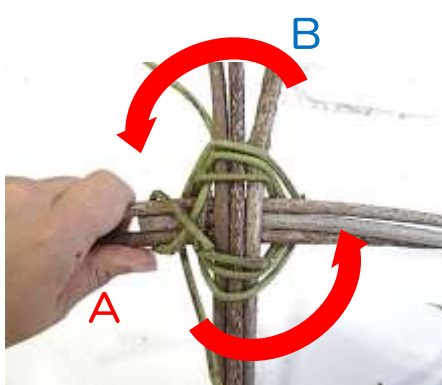
④ Aの下を通します



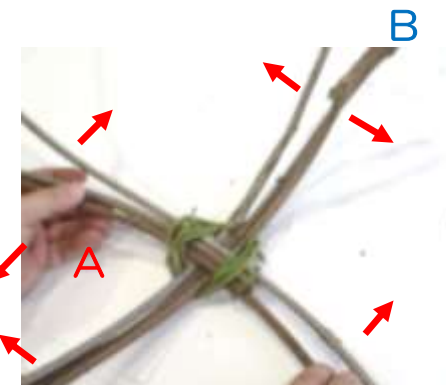
⑤ Bの上を通します



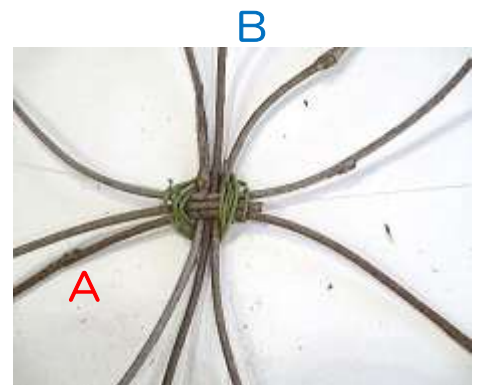
⑥ Aの下を通します



⑦ ③～⑥をくり返し、3周します



⑧ A・Bのつるをねじり、矢印の方向へ広がるようにします



⑨ 骨組みができました

※つるの端は、次のどちらでもかまいません

- 適当な長さで切り、すき間にねじこむ
- そのまま③に進む

オリジナルの“かご”をつくろう④

3

かご^あ編み

かごを^あ編んでいきます。



- ① 先ほどの^{ほねぐ}骨組みに、細いつるを結び、上→下→上→下・・・の順に^あ編んでいきます



- ② 何周するかによって、かごの『底の大きさ』が決まります（写真は5周）

太いつる



- ③ 太いつる（11本）を上向きに折り曲げます



- ④ 形を整えながら、上→下→上→下・・・の順に^あ編んでいきます



- ⑤ 何周するかによって、かごの『高さ』が決まります（写真は8周）



- ⑥ あまったつるの^{はし}端は、^{てきとう}適当な長さで切り、すき間にねじこみます



- ⑦ 仕上げの形はお好みに^{おう}応じて



- ⑧ 数日^{かんそう}乾燥させると、つるが固くなります

つる植物の採取について

【 場 所 】



A地点の風景



B地点の風景



C地点の風景



D地点の風景

【つる植物】

